

## 第 2 4 回参議院議員選挙の総括について

第 24 回参議院議員選挙の総括として、以下のことが挙げられます。

1. 選挙の取り組みは、47 支部協が足掛け 2 年間「石橋みちひろ」さんの必勝をめざし、署名カード、紹介者カード、会員との総対話など諸活動を全力で取り組んだ結果、二期目の当選を果たすことができました。全ての会員・家族、役員の皆さんのご理解、ご協力に感謝します。
2. 選挙結果は、17 万 1 4 8 6 票。民進党比例当選 11 番中 9 位でした。最も厳しかった 3 年前の「吉川さおり」さんの得票数から 4 0 7 7 票上積みしました。  
この「石橋みちひろ」さんの再選は、今次政治情勢を踏まえた強い危機感のもと現・退の組織の総力を結集した 3 年前を上回る取り組みを展開した成果であると認識します。
3. 活動の取り組みに当については、拡大支部協代表者会議やブロック会議で状況報告、今後の取り組みについての認識を合わせ、各支部協の地域性、主体性を活かした諸活動を展開したことは評価にあたいます。
4. グループ連絡会との統一行動については、県域で若干の濃淡はあるものの、県域分会等との連携した各種取り組みが実施されました。
5. 4 月以降、現役のグループ連絡会とともに取り組んだ会員との総対話活動や支部協独自の会員との面談、電話でのお元気コール——等は、会員とのコミュニケーションの充実、会の絆の強化に大きな役割を果たしたものと評価します。
6. 投票結果の評価は、全体的には前 2 項のとおりです。しかしながら、地域別では、支援組織や自治体議員等の要素はあるものの、現役と退職者の県域合計人員と得票数の比率が重要なポイントと言えます。

支部協は、これらの要素と配布した資料、アンケート調査結果をもとに県域内における得票率などについて市町村ごとに分析し、今後の国政選挙等に活かしていく必要があります。また、分析した内容およびツール類について、来春のブロック会議で報告・論議をします。

以 上